

タブレットで広がる学び

「1人1台」が当たり前



市立小中学校の全児童・生徒にタブレットを導入。一人ひとりの習熟度(得意・苦手)に合わせた学習や、クラス全体でリアルタイムに意見・考え方の共有などが可能です。

1

紙とえんぴつを使った学習も大切にしています。



教育支援センター 黒田さん

深掘り!

AI型ドリルを使った学習も!

AIが一人ひとりの取り組み状況を分析し、最適な難易度の問題に取り組めるデジタル学習ツールです。苦手分野の克服や得意分野の伸長を効率的に行えるほか、学習状況の可視化により、子どもが主体的に学ぶ姿勢を育みます。

プログラミング学習も!

市立中学校全校でプログラミング学習のクラウド教材を導入しています。初心者でも楽しく学べる構成で、デジタル社会で活躍するための論理的思考力や問題解決能力を、一人ひとりのペースに合わせて効率的に育み、創造力と表現力を養います。

小学校からつながる 外国語教育

2

市立小中学校全校にALT(外国語指導助手)を配置し、発達段階に応じて外国語に慣れ親しむ活動や、英語を用いたコミュニケーションの充実を図っています。小学校での学びを中学校へ円滑につなげ、子どもたちのコミュニケーション能力の育成をめざしています。



POINT

誰一人取り残さない 自分のペースで主体的に学べます。

つながる学び 友だちの考えを瞬時に知り、協働して答えを導き出します。

家庭でも 宿題の提出もタブレットで行うなど、活用の幅が広がっています。

わ!

こんなに変わったの教育

今、学校では1人1台のタブレットなどを民間委託による水泳学習など、よりよ

活用し、一人ひとりに合わせた学びや、い学びの環境づくりが進んでいます。

深掘り! | 学校を支える人材

1 心と福祉のサポート

スクールカウンセラーは心理、スクールソーシャルワーカーは福祉の専門職として、子どもや保護者、先生の相談に応じています。

2 学校生活のサポート

学校支援員は学校全体の視点から、介助員は個別の子どもの状況から、全ての子どもが安心して学校生活を送れるよう、先生と連携し支援しています。

3 教育活動のサポート

教員業務支援員は学校業務を、部活動指導員は部活動指導を先生に代わり担うことで、先生が子どもと向き合う時間の確保につなげています。

3



先生だけじゃない、安心して通える学校づくり

学校には、先生以外にもさまざまな人員が配置されるようになりました。共に連携し、子どもたちが安心して学び、成長できるよう、支援を充実させています。



民間委託で変わる 充実した小学校水泳学習

民間のプールを使用し、泳力に応じて、子ども15人程度のグループにインストラクターが1人ついて指導を行います。専門のインストラクターが丁寧に教えることで、水が苦手な子どもにも寄り添った、分かりやすい指導につながっています。(令和7年度実績)

先生はプールサイドから声をかけたり、記録をとったりしています。安心して学べる環境づくりに取り組んでいます。



POINT

小学校 3・4年生 外国語活動を通して、外国語に慣れ親しみ、伝え合う楽しさを感じながら学びます。

小学校 5・6年生 外国語科として、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことを通して、英語の力を育てます。

中学校 小学校での学びを土台に、英語で考えや気持ちを伝え合う力を伸ばします。

ALTと小中学校の外国語担当の先生が定期的に情報交換を行い、授業づくりや指導の工夫について共有しています。

ALT(外国語指導助手) ライリー先生



学校教育課 島崎さん



わ! なわて発つながる教育

本市では、さまざまな教育の取り組みを行っています。ホームページやInstagramで発信しているのでぜひご覧ください。

市ホームページ
はこちら



Instagram
はこちら



学校教育課
磯部さん



学びのステージで /

縦につながる

子ども同士のつながりを大切に、就学前施設、小学校、中学校の連携を密にしながら、子どもたちの学びへの“わくわく”や安心感を支えています。

就学前
施設

就学前からつながる学び (一部の学校で実施)

就学前施設の子どもたちが小学校の授業を受けたり、在校生と一緒に遊んだり、小学生の発表を見たりする取り組みを行っています。



小学校

中学生と小学生のふれあい交流 (一部の学校で実施)

小学校では、校区の中学校の体育大会を見学したり、中学生が小学校のPTA行事(土曜参観後のイベント)でお店の手伝いをしたりするなど、小中学生の交流を行っています。



中学校

新入生体験入学

全ての小学6年生が校区の中学校を訪問します。校舎内の見学や中学校生活の説明、体験授業、部活動見学などを行っています。



地域とつながる

4月から中学校で地域展開部活動が始まりました。部活動は、地域と連携して少しずつ形を変えていきます。

地域展開部活動(一部種目・曜日で実施)

これまでの部活動の形を残しつつ、認定地域クラブの指導者が、一人ひとりの体力や目的に応じた指導を行います。これにより、競技の楽しさに触れたり、新たな可能性に出会ったりする機会が広がります。また、教員が授業づくりや子どもと向き合う時間の確保にもつながります。



企業とつながる

令和7年度に試行実施した、株式会社官民連携事業研究所との共催による「企業とつくる特別教室」。民間企業と連携し、プロフェッショナルから仕事の楽しさや社会の仕組みを学ぶ取り組みです。今年度の開催案内は、今後広報誌などでお知らせします。

第1回 1月24日(土)実施

Haier ハイアールジャパン セールス株式会社

家電メーカーとして知られるHaierの講師が、小学生にも分かりやすく楽しめる内容で、普段の授業では学べない「冷蔵庫はなぜ冷たいのか」「冷凍庫で氷ができるしくみ」など、身近な疑問について学びました。



第2回 2月21日(土)実施

森永乳業株式会社 morinaga

乳製品メーカーの森永乳業株式会社担当者が、乳製品の秘密や不思議、乳酸菌と体の関わりなどを解説、子どもたちの疑問に答えました。



第3回 3月21日(土)実施

SARAYA サラヤ株式会社

「人にも地球にもやさしい」を理念とする自然派の洗剤メーカーであるサラヤ株式会社から、私たちの生活に欠かすことのできない石鹸などの原料となる「パーム油」の最大生産地「ボルネオ島」について、その生産と森林環境、生態系との関わりなど紙芝居やクイズで楽しく学びました。

